

NPO法人 日本コンチネンス協会主催 法人祭

ケアのひとつひとつ、手にするモノのひとつひとつに、さらにご納得いただくために

Discover TENA ~TENAで何が実現できる？



2021年3月20日

ユニ・チャームメンリッケ 営業企画部
TENAアカデミー 田村 絵美子・内田 ルミ

本日、皆さまにお伝えしたいこと



- スウェーデンのコンチネンスケアってどんな感じなの？
- TENA事業を通して、変えたいことと守り続けたいこと
- もっと知りたい・語り合いたい方のためのTENAアカデミー最新情報

このお部屋の方は、 なぜ、TENAを使っているの？



火曜日と木曜日は友達に会いに行く、
だからTENAを使っています。

スウェーデンから いま、私たちが学べること



ヨーテボリ市のナーシングホームにて
左から、介護部長、排泄ケア部長

Tre Stiftelserの理念

新たな発見を止めたくないあなたのために、
美しい環境にとどまりたいあなたのために。
食事を楽しみたいあなたのために、
そして、生涯の友に会いたいあなたのために。

Tre Stiftelserではアーロン・アントノフスキーが提唱する健康生成論に基づいた一流クラスの高齢者介護を信念としています。



Tre
Stiftelser
OMSORG VÅRD SERVICE



ひとりの人を大切に スウェーデン発 **Essity**からのメッセージ



ドロットニングホルム宮殿

1991年、ユネスコ世界遺産に指定された宮殿で
現在も国王一家の住居として使用されています

スウェーデンの女性の平均寿命は84歳で日本は87歳、
男性の寿命はスウェーデンも日本もおおよそ80歳で
大差ないレベルにあります。

スウェーデンには「施設」という言葉は存在せず、訪問
介護を受ける人を**普通住居に住む人**、施設に暮らす人
を**特別な住居に住む人**と表現し、どちらも自宅に変わり
はないと考えられています。

法律やガイドラインでは高齢者個人の**尊厳や幸福**が尊
重されており、どのようなケアを望むか選択の自由があ
るなど、意思決定に関する柔軟で緩やかな価値観まで
もが含まれています。

ヘルスケアシステムも同様に「個別ケアを受ける権利」という概念に基づいています。つまり処方される医療機器においても、その時々状況変化に応じた個々のニーズを満たすものでなければなりません。

排泄ケア用品も医療機器に分類されており、Vårdcentralと呼ばれる地域のヘルスケアセンターでディストリクトナースからオムツやパッドを初回処方をされる仕組みになっています。

ディストリクトナースはひとりにつき1時間15分のアセスメントを行い、排泄のメカニズムの説明後、数種類のサンプルを試した上で使用するオムツやパッドはご本人が決定します。パッド処方手数料はかかりますが、処方されたものはすべて個人負担なく公費によって賄われています。



オムツやパッドの初回処方ができるのは、この地域を担当するディストリクトナースのみ。追加処方はナーシングホームの処方ナースでも可能ですが、**アイテムの見直しは1年おき**にディストリクトナースが行っています。

ディストリクトナースは担当地域の住民約1万人をカバーする上級ナースのようなもので、看護師からディストリクトナースになるには1年3ヶ月のトレーニングに加え、排泄ケアに関しては5週間の特別なトレーニングを受けています。



看護師

看護教育の一環として、排泄にまつわる基礎的な教育や研修を受けている

ディストリクトナース

排泄ケアのアドバイスやオムツの処方ができる上級ナースのようなもの

ウロセラピスト

さらに2年の研修でオムツの処方に加え、理学療法や薬剤処方もできる

泌尿器科医 産科医

手術などの専門的治療に加え、オムツの処方もできる

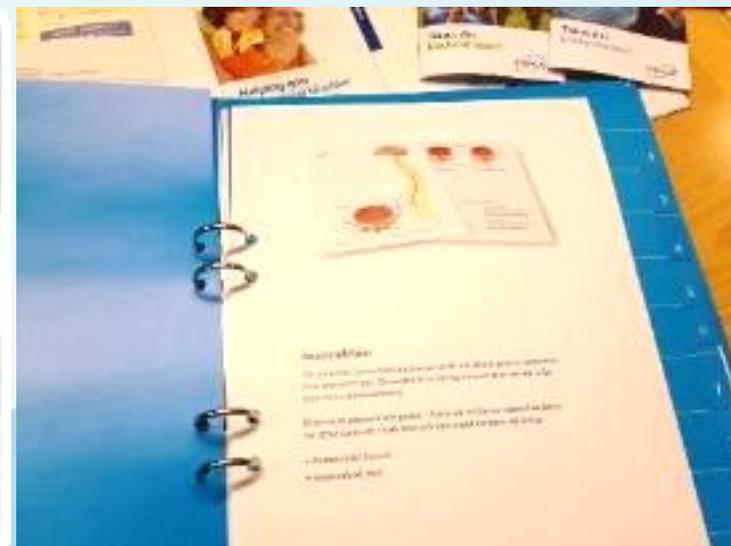
スウェーデンでは、このようにして「**自分のための排泄ケアを受ける権利**」が守られています。
個別にアセスメントして、排泄の方法・適切な排泄ケア用品・交換パターンについてのアドバイスを受けると
いう権利です。そこにも自分で選んで決める「自己決定」の原則が根付いています。



2014年にインタビューさせていただいたディ
ストリクトナースのLeenaさん



Leenaさんが担当している患者さまは28～
89歳まで。初回はひとりにつき1時間15分か
けて問診や説明を行っている



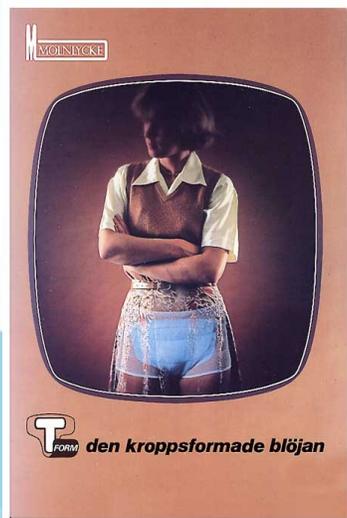
排泄のメカニズムの説明やアセスメントに使用
するツール類は、Essityなどの企業からも提
供している

参考資料:

- * 「Swedish elderly welfare and care concept」 Ulf Söderström, President Asia Pacific, SCA 1st TENA Forum, Tokyo Japan, 12th September 2015
- * 2014年度 欧州研修報告「スウェーデン・イギリスに学ぶTENAビジネス」より

Our History_1

日本の施設市場にスウェーデン式個別排泄ケアを



日本でのTENA事業は「社会的入院」や「寝たきり老人」が社会問題化していた80年代後半にスタートしています。

住まいの安定を目的に施設へ収容保護するなど、行政が利用するサービスを決定していた「措置」の時代から、利用者自身でサービスを選択する「契約型」の介護保険制度へと転換した、社会保障政策の節目ともいえる時期にあたります。

布おむつが主流の時代に、1枚使用や低頻度交換にご理解を得ることは難しく、TENAコンセプトのご説明と効果の証明に奔走しておりましたが、多くの民間企業が参入し「介護の社会化」が進む中、スウェーデンの「自己決定」をベースにしたTENAのコンセプトは特養など多くのご施設に望まれて、自立支援のひとつの形となって広がりました。

UCM
UNI-CHARM MÖLNLYCKE

右)1960年代のTENAの前身

左)日本上陸当時のTENA

下)ユニ・チャーム メンリッケ設立当時の社名ロゴ

～ TENA開発エピソードのご紹介 ～

TENAの名前の由来をご存知ですか？

TE + **NA** = “T”の形をした夜のおむつ

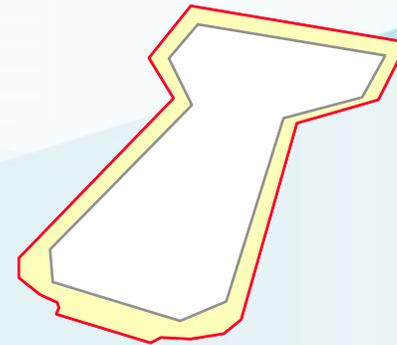
T-Form



1978

生活動作がしやすい「T」型パッド
& T-Form専用ショーツ

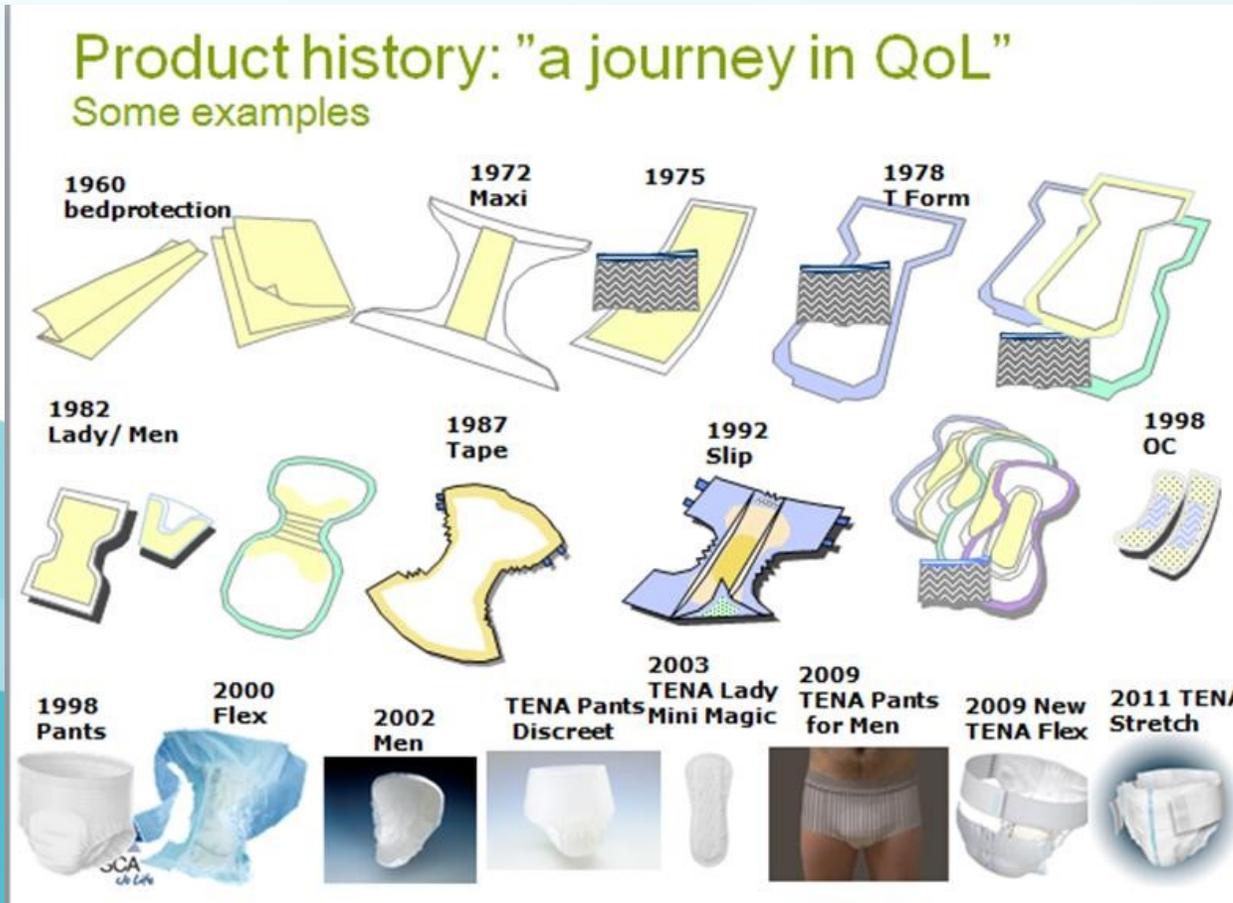
T-Form, **Na**tt



大吸収量の夜間用T-Form

～ TENA開発エピソードのご紹介 ～

製品開発の歴史から見る、日本上陸当時のTENA



1960年代 使い捨てパッドとパンツを開発

業界初・失禁用製品のオープンな宣伝活動

1983年 TENAブランド商標登録

1987年 日本でのTENA事業 メンリッケヘルスケア開始

1997年 ユニ・チャーム メンリッケ株式会社設立

Our History_2

尿失禁のケアから、コンチネンスケアへ



快適な排泄習慣の維持

快適な排泄習慣の回復

快適な排泄習慣の回復が
見込めない方の
失禁のケア

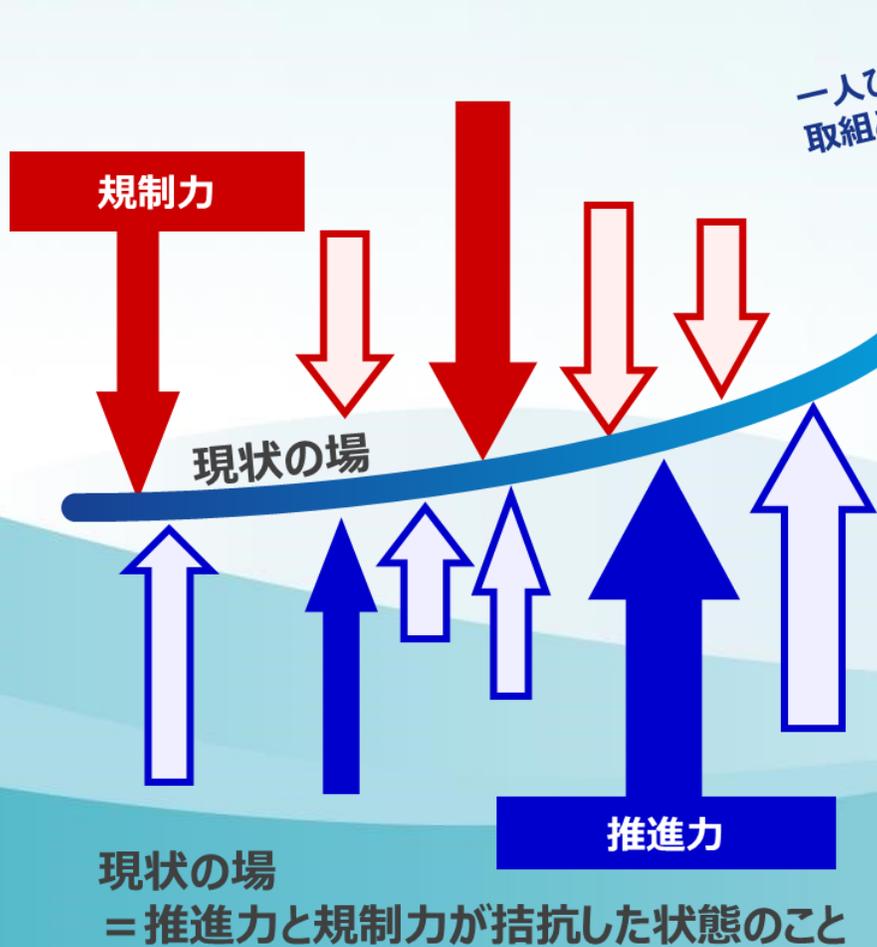
2005年には高齢化率が20%に達し、要介護高齢者の増加や介護期間の長期化に伴い、社会保障費の抑制が求められるようになります。TENAブランドとしても尿失禁のケアからコンチネンスケアへとシフト。

治療できるものは治療する、それでも失禁症状が改善しなければできるだけ小さなパッドを使用する。小さなパッドが選ばれる理由は、ご利用者の尊厳を守ること、衣服の上から目立たず快適に過ごせること、費用が安いことなどです。

2011年よりヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、中国、日本において介護施設と連携した「TENAソリューション」を展開。排泄に関わる業務時間44%削減は平均的な成果です。廃棄量を平均31%削減するなど、二酸化炭素の排出量を少なくすることにも努め、**良いケアは環境保全にも繋がること**を立証してきました。

Our History_3

問題解決から組織的な成功体験へ



2015年からは、日本独自の「CST実践ガイド」を展開。BSC方式を導入してケア改善の可視化に挑みます。2019年、TENA ProSkinシリーズ発売開始。スキンヘルスという結果領域まで拡張した現在は、目で見ても手で触れることのできる成果にも挑戦中。

実際の現場では、様々なお立場からの見解や価値観の相違から順調に進むばかりではありませんが、これを紐解き一人ひとりの思いを取組みの中に見出せたとき、チームケアは必ず軌道に乗ります。

人の手を借りなければトイレに行くことが叶わない、すべてを委ねて下の世話を受けなければならない長い年月を思うとき、守りたいものは何か、ご利用者を取り巻く環境も含めて在りたい姿を共に描きたいと思う気持ちは皆同じと思います。

～ TENA ProSkinシリーズのご紹介～ そのケアの実践成果、実感できていますか？



SKIN HEALTH ALLIANCE 認証取得!

(スキンヘルスアライアンス)

TENA ProSkinシリーズの製品は、国際的な皮膚科学認証機関スキンヘルスアライアンスにて安全性と快適性の認証を取得しています。シリーズ製品ラインナップにおける取得という快挙は、失禁ブランドではTENA ProSkinシリーズが初めてです!

ステップ1
キープドライ

心地よい時間を増やすために



パッド製品は表面から尿を素早く吸収する「フィールドライ™アドバンスド機能」とTENA独自の吸収シートでお肌のさらさら感を向上

PROskin

ステップ3
キーププロテクト
そして優しく肌を守る



高い撥水効果のTENAバリアクリームは尿や便等の外的刺激から肌を優しく守ります

ステップ2
キープクリーン
すっきりときれいな肌へ



肌を擦らず汚れを浮かせるふきとりクリームTENAウォッシュクリームと大判サイズのTENAウェットワイブはどちらもデリケートな部分を清潔にしながら保湿・保護



～ TENAならではのCST実践ノウハウのご紹介 ～ ケアの生産性を向上させるチームマネジメントの鍵とは？



TENA

Chapter 1

コンチネンスケアの成功って どんなこと？

3

TENA

Chapter 2

個別ケアが大切、 だからこそ重視したいケアの生産性

9

TENA

Chapter 3

よりよいケア提供へのこだわり

16

コンチネンスケアの成功ってどんなこと？

特別介護老人ホームほしのさと（山口県）で聞かれた嬉しいお声

自立支援	チーム活性	経営メリット
<p>足首が固くなり、立つことも不安定だったご利用者に、CSTはトイレに行くことを勧めました。それがきっかけでリハビリにも動むようになり、半年ほどで歩けるようになったのです。</p> <p>(CSTアドバイザー・作業療法士)</p>	<p>一人ひとりが成功したいという気持ちが大変大きいと思います。言われたことだけで出来上がるよりも、そのプラスワンをいきたいという職員がCSTの中には多くいます。</p> <p>(CSTリーダー・介護主任)</p>	<p>平均要介護度もベッド稼働率も上がりましたが、オムツのコストは年間5%減りました。予想以上に回収できたのではないかと感じています。</p> <p>(理事長・法人本部長)</p>

4

コンチネンスケアに潜むムリ・ムダ・ムラ

業務の流れを円滑にするために考慮すべきこと

ムリ 設備・人材の心身の過度の負担

- 体重80kgの男性利用者のボーターへの移送を女性の介護職員1人で対応する
- 前食後は、口腔ケアとトイレの準備で一杯、オムツ交換まで手がまわらず予定の2倍の時間がかかっている
- 巨食後のトイレ誘導で便汚染があると入浴直前でもオムツ交換しなくてはならない
- オムツの補充が間に合わず、入浴介助中に倉庫まで取りに行かなければならない時がある

ムラ 人・住環境の負担のばらつき

- 職員が2名いる日はオムツ交換も職員が1名しかいない日は放棄している
- 手推車に作業する職員と、自己選で作業する職員、状況に応じて介助する職員がいる

ムダ 省力化できる業務

- TENAアドバイザーは成功の鍵をこう考えます
 - ムリをなくするために有効だったこと
 - ・オムツ交換回数・タイミングの見直し
 - ・施設ごとのトイレ誘導人数・スタッフのバランス調整
 - ムダをなくするために有効だったこと
 - ・洗面台の区画と分別
 - ・仕事服やシューズを考えた手洗いの見直し
 - ムラをなくするために有効だったこと
 - ・事前のワークアウト
 - ・現場の「なぜ?」を前向きに打ち出す勉強会

11

多職種連携によるCST会議

それぞれの役割、経験から生じる意見や思いを結集して、最良のケアを考え抜く場

- CSTリーダー・介護主任** 「施設の「利用者への対応を検討したいと思えます」
- 施設サービス課長・看護師** 「高齢化、機能も良くないから、マシメは使いたくないですね」
- TENAアドバイザー** 「これは現在ご使用の製品ままでも、変化が起きているので、TENAアドバイザーで取り戻す必要があるのでは？」
- 機能訓練士** 「少しづつ歩速を上げてトイレに慣れるようになってほしい」
- 支援計画と運動内容がより明確に!**
- 栄養士** 「お茶を常飲したら、水分量と食物繊維が少なすぎるのでは?」
- 介護職員** 「水分量と食物繊維が少ないのだから、お茶を飲むのは、なかなか難しいです...」
- ケアマネジャー** 「世間で支援計画書にまとめて、ご家族への説明・同意も必要です...」

18

水曜夕方のTENAウェブセミナーでもご紹介しています!
お取り組み成功事例インタビューやTENAアドバイザーの関わりなどCST実践のノウハウを凝縮してお届け。是非一度、ご参加ください!
academy.tena.co.jp/

～ TENAならではのチームケア実践ノウハウのご紹介 ～

【生産性5%改善の実証】 × 【ご利用者ハピネスの算出】

製品とノウハウを用いて、**量的な効率化**と**質の向上**の同時実現をTENAアドバイザーがコーディネート。人のぬくもりを感じていただけるようなケア時間を確保して、ご利用者ハピネスに繋げていきます。

	量的な効率化	質の向上=ご利用者ハピネスへ
定着3項目	平均交換回数 <u>4.0回</u> を <u>3.8回</u> に抑える	ケア前後に <u>ご利用者と言葉や笑顔</u> を交わす
トイレ誘導	1回あたりのトイレ誘導にかかる時間を <u>2分短縮</u> する	<u>2人介助が必要な方</u> に人手をまわして安全を確保
業務態勢	<u>20人でやっていた仕事を19人で行う</u>	トイレの <u>サインを見逃さない見守り態勢</u>
導線や在庫の整理	1時間強かかっていた業務を、 <u>毎回必ず1時間以内</u> に完了する	生み出された時間を <u>食事介助に充てて</u> たくさん召し上がれるようにする

Our History_4

大切な人を守りたい、 だから地球もケアすることにしました



TENA事業におけるSDGs等の取組みの詳細は、TENA公式サイト「サステナビリティ」のページをご覧ください!tena.co.jp/

質の高い製品とサービスをお届けすることへの責任は、今後も変わることはありません。1枚使用でトイレ排泄の可能性を追求するスタイルは2011年にはISO15621の樹立に繋がり、グローバルスタンダードにまで発展してきました。そして今、サステナブルであるための新しい方法を常に模索しています。

2030年までにヨーロッパの当社工場すべてを再生可能エネルギーに100%移行し、二酸化炭素排出量を半減させます。自分たちでより良い世界をつくり、TENAを手にする誰もがより良い世界をつくれるように。

なぜなら、大切な人を守るためには、地球も守る必要があるからです。

～ TENA Protects Programのご紹介～ 私たちは、常に考え続けています



ケアの認知向上や体制の確立に向けて積極的に働きかけます。ネガティブな既成概念を取り除き、**もっとオープンに失禁について話し合える世の中にするために。**



商品を発売するごとに、当社の二酸化炭素排出量は減少しています。2008年以降、ヨーロッパ工場にて生産するEssity社製品の二酸化炭素排出量は11～33%減少しており、予定どおり2030年までに50%削減という当社の目標を達成する、もしくは上回る可以看到の見込みです。



個人レベルで二酸化炭素排出量を削減するために、消費習慣にも変化を起こします。お客様がTENA製品使用に伴い排出する二酸化炭素量の一部は、当社の責任になるからです。

廃棄量が減りリサイクルと再利用が増える社会=循環型社会の構築に貢献します。2025年までに再生可能またはリサイクル素材を85%用いた梱包、2030年までに全生産拠点における廃棄物を素材およびエネルギーに変換するという目標に向けて常に尽力しています。



～ オンラインTENAアカデミーのご紹介～

スウェーデンのケアやTENAについて、もっと知りたい・語り合いたい方のために

New!

スキマ時間を有効に

TENAアカデミー情報サイト

www.academy.tena.co.jp/



New!

水曜日は、コンチネンスケアを考える日

TENAウェブセミナー

参加無料・事前申込制



TENA活用のヒントがわかる

動画で知るTENA

お客様事例から知るTENA

チームケア with TENA

こんな時、どうするの?

オンライン学習プログラム

その他、セミナー情報や広報等

今日からのケアを変えるエッセンス

I. スウェーデンのケアとTENAの理念

開講記念講演
グスタフ・ストランデル様

II. TENA製品のご紹介

特別講演

III. チームケア成功の鍵とは

オンライン北欧視察研修

スウェーデン在住エーミルさんが現地から最新情報をお届け!

オンライン北欧視察研修 全4回プログラム

“寝たきり老人のいない国”スウェーデンからいま、私たちが学べること



エーミル・オストベリさん
スウェーデン・クオリティケア
Japan Area Manager及び通訳

3/24

受付
中

第1回 スウェーデンが貧しい農業国から世界で有数の高齢者福祉大国になった理由

- ・ スウェーデンにおける高齢者ケアの歴史的背景
- ・ 行政システム
- ・ 在宅ケアサービス
- ・ デイケアセンター
- ・ 高齢者向け特別住宅
- ・ おむつの使い方について

6/16

準備
中

第2回 ノーマライゼーションの推進と大型施設ケアから個別ケアへの変遷
高齢者向け特別住宅について

- ・ 1990年代におきた高齢者向け特別住宅の発展について
- ・ 特別住宅のデザインと環境における重要性
- ・ ケアの哲学
- ・ 施設でのアクティビティー
- ・ おむつの使い方について

9/22

準備
中

第3回 スウェーデンの高齢者ケア
アクティビティ・補助器具・リハビリは
どんなことをしているの?

- ・ スウェーデンにおける高齢者ケアの歴史的背景
- ・ 特別住宅
- ・ 施設で使われる補助器具について
- ・ リハビリの観点から的高齢者ケア
- ・ おむつの使い方について

12/22

準備
中

第4回 スウェーデンの高齢者ケア
家族支援と看取り、おむつの使い方
について

- ・ スウェーデンにおける高齢者ケアの歴史的背景
- ・ 特別住宅
- ・ ご利用者ご家族へのサポート
- ・ 看取りケア
- ・ おむつの使い方について

お申込みは、academy.tena.co.jp/ たくさんのご参加をお待ちしています!